



とうきょうの教育

Tokyo Metropolitan Board of Education

第113号

小学校版

平成30年1月



東京都教育委員会

「とうきょうの教育」は、東京都教育委員会(教育庁)のホームページでも読むことができます。

ホームページ <http://www.kyoiku.metro.tokyo.jp/index.html>

とうきょうの教育

検索

東京都教育委員会(教育庁)では、都民の皆さまからの提言やご意見・ご要望をメールで受け付けておりますので、お寄せください。

確かな学力が身に付いています

平成29年度

全国学力・学習状況調査の結果から

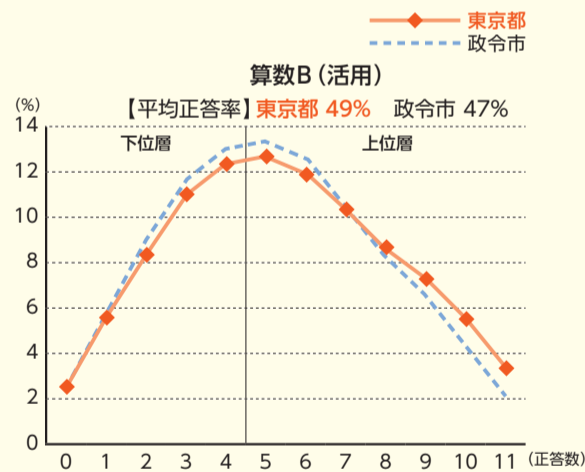
平成29年4月に文部科学省が実施した平成29年度「全国学力・学習状況調査」の結果が公表されました。

調査の結果から、東京都の子供たちの学力・学習状況は良好であることが分かりました。

学習を通して習得した知識・技能を活用する力を身に付けられるように、東京都では学校の授業をより良くする取組を進めています。

東京都は政令市と比較してみると 学力が高いことが分かります

算数B(基礎・基本を活用する力をみる問題)の正答状況



※グラフは正答数ごとの人数の割合を示しています。

平均正答率と、正答数が多い成績上位層の割合が政令市に比べて多く、下位層の割合は少ない状況です。

(教科に関する調査(小学校6年))

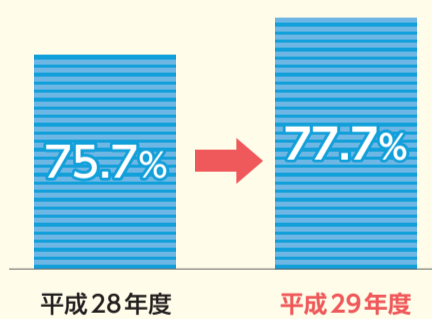
考えを伝え合い、理解し合うことが学力向上につながります

児童への質問

Q:「話し合う活動では、話し合う内容を理解して、相手の考えを最後まで聞き、自分の考えをしっかりと伝えていたと思いますか。」

「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と答えた子供は昨年度より2%増えています。

「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と答えた児童ほど、平均正答率は高い状況です。(児童・生徒質問紙調査(小学校6年))



| | 平均正答率(算数B) |
|------------------|------------|
| 当てはまる | 54.8% |
| どちらかといえば、当てはまる | 49.4% |
| どちらかといえば、当てはまらない | 41.5% |
| 当てはまらない | 32.4% |

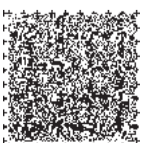
東京都は児童・生徒の学力向上を図るために、 考えを伝え合い、理解し合う授業を進めています

それが「主体的・対話的で深い学び」を実現する授業です。

目次

| | |
|--------------------------------|-----|
| 平成29年度 全国学力・学習状況調査の結果から | 1・2 |
| 中学生の職場体験を実施しています | 3 |
| TOKYO GLOBAL GATEWAY | 3 |
| 学校における働き方改革を推進します | 4 |
| 第9回中学生東京駅伝大会/自転車の通行ルールを守りましょう! | 4 |
| アートキャラバン展 | 4 |
| 話してみませんか? あなたの心配 | 4 |

この印刷物には、視覚に障害のある方への情報提供の手段として、音声コードを添付しています。こちらの音声コードにより、活字文書読み上げ装置を使って、内容を聞くことができます。



中学校でも

「主体的・対話的で深い学び」を実現する授業が始まっています

例えば中学1年の数学の授業では…

1 社会とのかかわりを意識した問題を設定し、生徒に考えさせます

問題

【表1】は、東京の8月の毎日の最高気温を度数分布表にまとめたものです。【資料】は、那覇の8月の最高気温を並べたものです。

どちらの都市が暑いと考えられますか。また、その理由を説明しましょう。

【表1】▶

| 最高気温(℃) | 日数 | |
|---------|------|---|
| 以上 | 未満 | |
| 25 | ~ 26 | 1 |
| 26 | ~ 27 | 0 |
| 27 | ~ 28 | 1 |
| 28 | ~ 29 | 2 |
| 29 | ~ 30 | 1 |
| 30 | ~ 31 | 5 |
| 31 | ~ 32 | 6 |
| 32 | ~ 33 | 6 |
| 33 | ~ 34 | 5 |
| 34 | ~ 35 | 3 |
| 35 | ~ 36 | 0 |
| 36 | ~ 37 | 1 |

【資料】▶

| | | | | |
|------|------|------|------|------|
| 33.6 | 33.9 | 32.9 | 30.7 | 30.1 |
| 31.4 | 27.9 | 31.6 | 32.9 | 32.1 |
| 33.4 | 33.3 | 32.6 | 33.3 | 33.1 |
| 32.6 | 32.9 | 32.6 | 33.5 | 33.2 |
| 32.8 | 32.0 | 32.5 | 33.5 | 32.7 |
| 32.7 | 32.6 | 31.9 | 30.9 | 30.7 |
| 30.5 | | | | |

(平成29年度「児童・生徒の学力向上を図るための調査 中学校2年 数学」より)

2 生徒が自分で情報を読み取り、解決する方法を考えます



東京と那覇、どちらが暑いだろう…。

比べるには、【表1】と同じように那覇の8月の毎日の最高気温を度数分布表にまとめてみよう！

3 意見を持ち寄り、グループワークで考えを深めます

【東京】
東京のほうが
那覇より最高気温の
最大値が
大きいから



【那覇】
那覇のほうが東京より
気温の分布している範囲が
小さく、気温が安定して
高いから

4 自分の考えを、根拠をもって論理的に説明できるようになります

この問題で大切なのは一つの決まった正解を出すことではありません。自分で考えたことをグループで説明し、お互いの考えの良さを認め、自分の考えをさらに深めることができるようにすること。これが**主体的・対話的で深い学び**なのです。

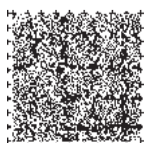


そのほかの
教科も
同じです

学校の各教科では実社会とのかかわりを意識し、自分や他人の考えの良さを認め合いながら、考えを深めていくような授業を計画的に展開することが求められています。

保護者の方へ

- ぜひ公開授業をご覧ください。そして、授業を参考にご家庭においても身近な話題について、お子さんと話してみてください。
- 保護者や地域の方が学校の教育活動に参加している割合が高い学校ほど、「全国学力・学習状況調査」の正答率が高いことが分かっています。
- 学校教育においては、保護者、地域の支援が不可欠です。学校の教育活動や様々な活動に参加するなど、ぜひご協力をお願いします。



キャリア教育で「自分らしい生き方」を実現する力を伸ばそう！

「キャリア教育」とは、教科の学習や係・委員会活動、学校行事など様々な教育活動の中で、子供たちに、望ましい勤労観や職業観を育み、未来を生きる基盤となる力を身に付けることを目指すものです。社会に必要な知識や技能を学ばせたり、社会的なルールやマナーを身に付けさせたりすることを通じて、予測の困難な社会において、社会的・職業的に自立し、「自分らしい生き方」を実現できる力を育てます。

Work Work

中学生の職場体験「わくわく Week Tokyo」を実施しています

東京都では、平成17年度に中学生に社会の一員としての自覚を促すとともに、望ましい社会性や勤労観・職業観を育成することを目的として、「わく(Work)わく(Work) Week Tokyo (中学生の職場体験)」事業を開始しました。現在、「キャリア教育」の柱となる取組として、都内全ての公立中学校で、2年生の生徒を中心に、職場体験を行っています。

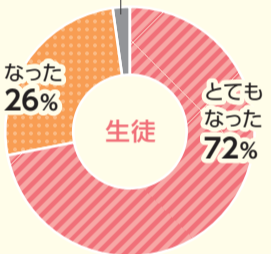
職場体験では、どのようなことをするの？

| | | | |
|--|---|---|--|
| <p>スーパーマーケットでは、店内の清掃や品出し、袋詰め、レジの補助などを体験します。笑顔で挨拶することも大切な「仕事」です。</p>  | <p>美容室では、清掃や接客、スタッフの補助の他に、ヘアカットなどの技術体験にも取り組めます。</p>  | <p>図書館では、開館準備やカウンター業務、書架の整理などを体験します。読み聞かせの会で絵本を読んだりもします。</p>  | <p>消防署では、防災訓練や救急活動、消防活動などを体験します。隊員たちと一緒に震災対策について学んだりもします。</p>  |
|--|---|---|--|

職場体験の効果

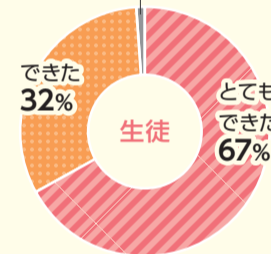
働くことや学ぶことの大切さを感じたり考えたりする機会となりましたか。

あまりならなかった 2%



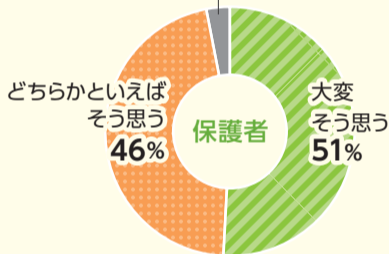
社会の一員として、マナーやルールについて学ぶことができましたか。

あまりできなかった 1%



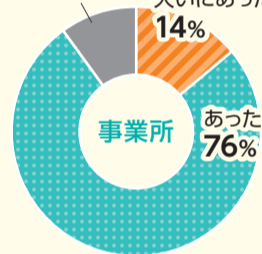
お子さんは、社会の一員としてのマナーやルールについて学んだと思いますか。

あまりそう思わない 3%



生徒の態度や様子に変化がありましたか。

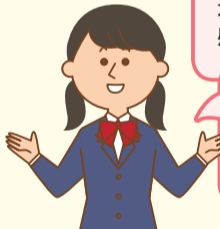
なかった 10%



生徒の声


実際に働いている方と同じように一日を過ごしたことで、働く大切さややりがいを感じることができました。

今まで以上に学校行事や委員会活動の場面で、自分に任された仕事を、責任をもってやっていこうと思いました。




保護者の声

「初日と最終日の顔がまったく違っているよ」と言われたことが本人のプラスになりました。子供の成長を認め、伝えていただき感謝しています。



事業所の声

自分たちの仕事を改めて振り返る機会になりました。未来の日本を背負う若い人を育てるという意識も高まりました。



平成28年度わく(Work)わく(Work) Week Tokyo (中学生の職場体験) 報告書より

ご家庭でも、日頃から、働くことの意味や社会の役に立つということ、大人に求められる役割や責任などについて、子供たちと話し合う機会をもち、「自分らしい生き方」を実現する力を育みましょう。

問合せ先 青少年・治安対策本部総合対策部青少年課 電話 03(5388)3064 教育庁指導部義務教育指導課 電話 03(5320)6841

平成30年9月に臨海エリアにオープン！



東京都英語村 TOKYO GLOBAL GATEWAY (TGG) の最新情報をSNSで発信しています！

東京都教育委員会と民間事業者とで提供する、体験型英語学習施設TGGの最新情報やイベントの優待情報などを、メールマガジンでお届けしています。ぜひウェブサイトからご登録ください。現在、学校からの予約申込みを受け付けています。個人での申込みは、平成30年4月から受け付ける予定です。

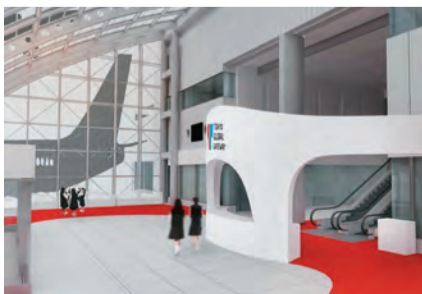
児童・生徒8人に1人の「エージェント」がずっとサポート

アトラクション・エリア

レストラン、ホテル、カフェなど、海外にいるかのような空間で、日常生活でのコミュニケーションを体験できます。

アクティブイマージョン・エリア

プログラミングや料理、文化、国際貢献など多様なテーマを、英語で体験します。探究型のグループワークを中心に活動します。



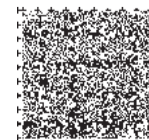
TGGウェブサイト

メールマガジンのほか、FacebookやInstagramなどSNSでの情報発信も行っています。



問合せ先 (株) TOKYO GLOBAL GATEWAY 電話 0120(86596)1

TGG 英語村 検索



東京都教育委員会は 学校における働き方改革 を推進します!

- 昨年、東京都教育委員会が実施した教員勤務実態調査において、いわゆる「過労死ライン」相当にある教員が多数存在することが明らかになりました。
- 特に中学校では、約7割の教員が「過労死ライン」相当の勤務を行っている状況です。
- 学校を取り巻く環境が複雑化・多様化し、学校に求められる役割が拡大する中、様々な業務が教員に集中して「丸抱え」の状態になっていることが、教員の長時間労働の一因となっています。
- このため都教育委員会は、教員の長時間労働の解消に向け、「学校における働き方改革推進プラン(仮称)」を策定することとし、昨年11月に中間のまとめを公表したところです。
- 今後、皆さまからいただいたご意見等を踏まえ、今年度中にプランを策定します。

- 教員が心身共に健康な状態で子供たちの指導にあたることや、自己研さんの時間を持てるようにすることは、授業や指導の質を高め、このことが教育活動の質の向上につながっていきます。
- 都教育委員会は、保護者や地域社会の皆さまのご理解とご協力のもと、区市町村教育委員会や各学校とも連携し、組織を挙げて学校における働き方改革に取り組んでいきます。

※過労死ラインとは

厚生労働省「脳血管疾患及び虚血性心疾患等(負傷に起因するものを除く。)の認定基準」において、発症前1か月間に100時間又は2~6か月間平均で月80時間を超える時間外労働が認められる場合は、業務と発症との関連性が強いとされている。

詳細はホームページをご覧ください。「学校における働き方改革推進プラン(仮称)」中間のまとめ

学校における働き方改革

検索

問合せ先

教育庁総務部教育政策課

電話

03(5320)6713

ファクシミリ

03(5388)1725

平成30年
2月4日(日)

みんなで応援しよう!

第9回 中学生 東京駅伝大会が開かれます

中学生が学校や部活動の垣根を越えてチームを編成し、高い目標に向けて全力を尽くします。陸上競技のオリンピックが特別ゲストとして来場します。

| | | |
|-------|--|---------------------------------|
| 開会式 | 午前9時30分 | 女子の部 午前10時スタート 男子の部 午後1時スタート |
| 閉会式 | 午後4時 | |
| 会場 | 味の素スタジアム・都立武蔵野の森公園特設周回コース | |
| 参加チーム | 合計50チーム | |
| 競技形式 | 区市町内の中学校から、それぞれ選抜された2年生チームによる 区市町対抗駅伝競走 | |

問合せ先

指導部指導企画課

電話

03(5320)6887

ファクシミリ

03(5388)1733

都立特別支援学校の児童・生徒による作品展

アートキャラバン展

昨年度、美術関係者からもご好評をいただいた「第2回東京都立特別支援学校アートプロジェクト展」の作品の一部を、再度ご覧いただけます。児童・生徒の内面の世界が表現された作品の数々を、どうぞご堪能ください。



都立中央図書館でのアートキャラバン展の様子

会場 都庁都政ギャラリー

期間 平成30年2月19日(月)から2月24日(土)正午まで

問合せ先

指導部特別支援教育指導課

電話

03(5320)6847

ファクシミリ

03(5388)1733

自転車の通行ルールを守りましょう!

自転車の通行ルール・マナー

- 自転車は車道が原則、歩道は例外
- 車道は左側を通行
- 歩道では歩行者優先で、車道寄りを徐行
- 交差点の信号遵守と一時停止・安全確認
- 夜間はライトを点灯
- スマートフォン、イヤホン等の使用禁止



事故の約6割が交差点で発生。見通しの悪い交差点では必ず一旦止まって必ず減速して、自分の目でしっかりと左右の安全確認をしましょう!

大人も子供もヘルメットをかぶりましょう

平成28年中の自転車乗用中の交通事故死者数は36人に上りました。このうち、約6割の方が頭部損傷を主因として亡くなっています。自転車ヘルメットを正しく着用することで頭部損傷による死者の割合がおよそ4分の1に低減するというデータもあります*。子供だけでなく大人の方もヘルメットを着用しましょう!

(*)イタルデザインフォーメーション「交通事故分析レポートNo.97」より

事故に備えて保険に加入しましょう

<子供が加害者になった賠償責任の例>

小学5年生の少年が自転車運転中、前方不注意で女性に衝突。女性は、頭の骨を折り、意識が戻らない状態。裁判所は、少年の保護者に監督責任を認め、賠償額約9,500万円を命じた。(神戸地方裁判所 平成25年7月4日判決)

問合せ先

青少年・治安対策本部 総合対策部 交通安全課

電話

03(5388)3127

ファクシミリ

03(5388)1217



とうきょうの教育

第113号

平成30年1月発行

- 編集・発行 東京都教育庁総務部教育情報課
東京都新宿区西新宿二丁目8番1号
電話 03(5320)6733 ファクシミリ 03(5388)1725
- デザイン 株式会社エデュケーショナルネットワーク
- 印刷 株式会社ドゥ・アーバン



この印刷物は、印刷用の紙へリサイクルできます。

話してみませんか? あなたの心配

幼児から高校生相当年齢の方を対象に、ご本人や保護者のどちらの方からもご相談を受けています。

☎ 教育相談

いじめ、不登校、友人関係、発達障害、自傷行為等

03(3360)8008

平日 9時~21時 土日祝日 9時~17時

東京都いじめ相談ホットライン

いじめ以外のご相談も受けています。

0120(53)8288

フリーダイヤル 24時間受付



スマートフォン向けアプリ「こころ空模様チェック」から「いじめ相談ホットライン」に電話をかけることができます(簡単なストレスチェックもできます)。



ダウンロードは、ホームページ「考えよう! いじめ・SNS@Tokyo」から

来所相談は、平日 9時~18時、8月を除く 毎月第3土曜日 は9時~17時まで実施します。まず、03(3360)8008でお申し込みください。

☎ 高校進級・進路・入学相談

都立高校等への入学や転学・編入学、中途退学等

03(3360)4175

平日 9時~21時 土日祝日 9時~17時

来所相談は、平日 9時~17時 まず、03(3360)4175でお申し込みください。

☎ 外国人児童・生徒相談

教育相談03(3360)8008、高校進級・進路・入学相談03(3360)4175
ともに英語、中国語、韓国・朝鮮語の通訳で対応

毎週金曜日 13時~17時(受付は16時まで)

✉ メールによる相談

※ホームページをご利用ください。

<http://www.e-sodan.metro.tokyo.jp/>



東京都いじめ相談ホットライン以外は、閉庁日・年末年始を除きます。

問合せ先

東京都教育相談センター

新宿区北新宿四丁目6番1号(東京都子供家庭総合センター4階)

電話

03(3360)4181

ファクシミリ

03(3360)4198